

文楽 Bunraku News 応援団通信

文楽
応援団通信

第25号

2014. 7. 19



さいゆうき
『西遊記』

文楽応援団ホームページ
<http://bunrakuouendan.web.fc2.com>

文楽応援団 検索

文楽応援団ツイッター
<http://twitter.com/#!/bunrakuouendan>

QRコードはこちら



HP



Twitter

文楽応援団の自己紹介

Issued by Bunraku Ouendan

文楽応援団は文楽の普及・振興を目的とするボランティアのグループです

おもな活動内容は

- ①文楽公演のポスター・ちらしを配布
 - ②文楽関係の展示品の解説
 - ③観劇のグループに公演のあらすじや見どころ聞きどころを解説
 - ④劇場外での普及活動(文楽の楽しみ方などを解説)等々です
- この他、文楽に関する学習会や懇親会なども行います



やり ござかさねかたびら
『鏝の権三重帷子』

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10
国立文楽劇場 事業推進課 文楽応援団担当
TEL 06(6212)2531(代) FAX 06(6212)1202

『応援団の皆様のこと』

国立文楽劇場事業推進課長

佐藤和男

国立文楽劇場は、昭和五十九年三月に開場し、今年で三十周年を迎えました。

私は開場一年後の昭和六十年に東京の国立劇場に採用されました。従いまして勤務歴は満二十九年になりますが、文楽劇場に勤めるのは今回が初めてです。昨年の四月から国立文楽劇場部に配属となりました。

着任間もない四月六日に文楽応援団登録証伝達式に出席して、応援団の皆様初めてお会いしました。

以前から、文楽劇場で活発に活動する文楽応援団というボランティアグループがあると聞いておりました。

また、どうしたらそういうグループができるのかと興味もありました。

と申しますのも、日本芸術文化振興会が独立行政法人に移行して（平成十五年十月）数年の間、「ボランティアの活用」ということが検討されてきたからです。

大阪から伝わってくる応援団の活動の一方で、東京では、議論はあったものの実現には至りませんでした。そのときの議論の中では、活動に参加するほど積極的な伝統芸能のファンの方は、概してその熱い思いから一

家言ある場合も多いのではと、弊害と言ったら語弊があるかもしれませんが、懸念があったようです。

概してボランティア活動とは、欲得抜きで誰か―社会に貢献したいという心性によるところが大きいのでしよう。応援団の皆様は―大阪の地に生まれ育った、世界に類を見ない芸能、文楽を愛し応援していきたいという気持ちは、この心性に通ずるものではないでしょうか。そして、その無償性が応援団の活動を継続させている（平成十三年度から続いています！）要因のひとつと続いています。

一年間、活動を見せていただいて、そんな印象を受けました。

展示の解説など、応援団の皆様には本当にお世話になっていきます。改めてお礼を申し上げますとともに、今後そのボランティア精神を存分に発揮していただき、文楽と文楽劇場を応援くださいますようお願い申し上げます。



へいげによごのしま
『平家女護島』

「やっぱり文楽はやめられない！」

其の二十

『北の街から文楽通い』

豊田 いづみ

札幌から文楽劇場に通い始めて、六年になります。

きっかけは、平成二十年、教育テレビで放送された「文楽入門」です。

解説は、住大夫師匠。人形の動き、太棹の音、大夫の語りに目を見張りました。

でも、何より心惹かれたのは、住大夫師匠の話す大阪弁でした。

私が今まで知っていた大阪弁とはまったく違いました。

柔らかく、情のこもった心地よい言葉でした。

師匠が番組の中で何回も「浄瑠璃は大阪弁で語ります。」とおっしゃっていました。

ああ、これは本場の大阪で、生の文楽を見なければ、と思い大阪通いが始まりました。

幕間に聞こえる観客のみなさんの話し声も大阪弁です。気分はすっかり盛り上がります。いよいよ始まりです。

太棹の音が、お腹に響きます。大夫の熱演に笑い、泣きます。人形のしぐさに、生身の人よりも色気と情を感じます。

もっと文楽を観たい、聴きたい、

知りたいたいと思いました。でも、札幌では文楽の話ができる人は、なかなかいません。公演もほとんどありません。

そこで、文楽応援団に入ったらもつと話もできるし、学ぶこともできるのではないかと、無謀にも、入団の申し込みをしてみました。みなさんには驚かれながらも、暖かく迎えていただきました。大阪周辺には文楽ゆかりの地がたくさんあります。淡路町、露天神、北新地、天満橋、などなど、浄瑠璃に出てくる地名が今も残っています。公演の時、研修会の時、その地を訪ねるのも大きな楽しみです。大阪の人が羨ましいと思います。身近過ぎて気がつかないのかもしれませんが。浄瑠璃の中のチャリ場はまさに大阪の笑いだと思えます。文楽は今も大阪の地に生きています。言葉にも、場所にも。北の街の田舎者はその文化に憧れています。文楽をもっと観たい、もっと聴きたい、もっと話したい。公演スケジュールを見ながら格安航空券を探す日々です。

最後に住大夫師匠に心から感謝の念を捧げます。文楽というワンダーランドに導いてくださり、生涯の楽しみを持たせていただいたこと、本当に有難うございます。

「やっぱり文楽はやめられない！」

最近の活動風景

演目ゆかりの地

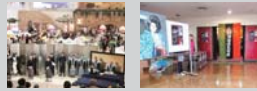


ゆかりの地巡り(京都編) 2014.02.23



道明寺天満宮 2014.03.09
豊竹若太夫 250 回忌法要 2014.04.29

文楽イベント



阪急祝祭広場 2014.03.16
大正区コミュニティホール 2014.03.01



堺市博物館でのイベント 2014.03.29



願泉寺イベント 2014.05.03

がんばってまあ 応援団



応援団登録証伝達式 2014.04.05



4月公演千鶴楽の劇場正面



大阪あそ歩より解説依頼

展示室での模擬解説



文楽デー 2014.06.08



劇場前二つの文学碑清掃 2014.03.15

お色直しをした
文ちゃん楽ちゃん

文楽応援団 東西と一さい



- * 2月27日(木)北野天満宮で4月公演成功祈願が行われました。
- * 3月16日(日)阪急百貨店うめだ本店“祝祭広場”で4月公演イベントが行われました。
- * 3月25日(火)八尾天満宮で4月公演成功祈願が行われました。
- * 3月27日(木)国立文楽劇場30周年記念のつどいがありました。
- * 3月29日(土)堺市博物館で「文楽をもっと知ろう」イベントが行われました。
- * 4月29日(火)豊竹若太夫250回忌法要が行われました。
- * 5月3日(土)願泉寺(貝塚市)で「文楽鑑賞会」が行われました。
- * 6月8日(日)大阪市主催「第10回文楽デー」が行われました。
- * 7月8日(火)堺市で「文楽、始めよう!! IN サンスクエア堺」が行われました。
- * 「文ちゃん」「楽ちゃん」が4月公演からお色直しをしました。
- * 応援団HP来場者数51,428人、文楽応援団ツイッターのフォロワーが1,105人になりました。(2014.07.04現在)
- * 次回公演
東京：9月6日(土)～9月22日(月)
大阪：11月1日(土)～11月24日(月・祝)
※11月13日(木)は休演

HONORING CHIKAMATSU

This year marks the 290th memorial of bunraku's greatest playwright, Chikamatsu Monzaemon (1653 - 1724). Our summer program is dedicated to his work, but rarely does bunraku fail to include a Chikamatsu play. His love suicides and period spectacles continue to attract big audiences to bunraku – and also to his stories in kabuki, cinema, modern drama, dance and opera, both at home and abroad. Like Shakespeare, Chikamatsu speaks for all times and all places.

It was Chikamatsu who invented the bunraku play as we know it, by transforming the old story-telling art of joruri, rooted in medieval epics, into a more lyrical form and giving believable psychology to his characters. He also invented the “Everyman” hero: the ordinary shopkeeper or housewife whose problems turn to tragedy and whose feelings are expressed in poetry. Previous dramatic heroes were all royal, aristocratic or legendary, just as Shakespeare's are. By depicting average citizens ennobled by their struggles with destiny, Chikamatsu spoke directly to his audiences about their own concerns and dignified their lives by documenting them. These reality-based plays revolutionized bunraku and are still fresh in popularity.

In these plays the characters are remarkable for the ambivalence of their motives and actions. This was new to a theatre form in which characters were stereotyped and audiences were accustomed to seeing heroes behave consistently like heroes and villains like villains. In bunraku all puppet heads come from a stock of a few dozen designs based on age and type. Our two young male leads this summer, Gonza the lancer and Yohei the oil merchant, both use the same head design, with adjustments to hairstyle and face paint reflecting social class. It is the traditional head of a romantic hero. Yet Yohei commits murder and Gonza seduces and lies. Such discordance still can make audiences uneasy. This is precisely the playwright's genius. Real people do behave in inconsistent and ambivalent ways. Chikamatsu's characters portray that truth, and require audiences to think about it.

Faith Bach
Earphone Guide

- 1/ 3 新春公演初日。鏡開き。展示室解説、演目解説など、24日まで。
応援団通信第24号、3,000部発行。
- 1/ 9 山田さんより英語解説依頼10名。担当岡持。
- 1/18 大政学院大学附属高校教育後援会山川氏より解説依頼、21名。
担当:大野、岡持、畑、安藤。
- 2/ 6 三十三所観音巡り⑩番～⑮番まで。参加:2名。
- 2/ 7 三十三所観音巡り⑯番～⑳番。参加:2名。
- 2/ 8 スタッフ会議。出席:10名。
- 2/14 第1回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 2/15 第1回研修会。新春公演総括。新団員紹介。出席:41名。
学習会「兵庫口説(ひょうごくどき)について-尽くし物について-」講師:竹村。
今期スタッフ:荒木、今井、馬越、大野、長、榊田、羽田、森木、目黒、安藤。
今期HP委員:榊田、荒木、内田、折井、齋藤、杉本、竹村、立川、目黒、山本、安藤。
今期編集委員:荒木、折井、安藤。
- 2/20 第1回研修会報告書発送事務作業。世話人:安藤。
- 2/23 演目ゆかりの地巡り京都編。文字天満宮・菅大臣神社・吉田神社・北野天満宮等。
参加:11名。
- 3/ 8 スタッフ会議。出席:10名。
- 3/ 9 演目ゆかりの地巡り 道明寺・道明寺天満宮。参加7名。
- 3/14 社会福祉協議会事務所へ、ほうてい保険加入手続き、64名分申請。
第2回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 3/15 第2回研修会。出席:44名。解説日程調整。
4月公演演目説明、見所解説。担当:藤田。
学習会「触れる展示品の組み立て」など。
劇場前「二つの文学碑」掃除。参加25名。
- 3/20 応援団活動写真ハ初作成Part I。担当:荒木、安藤。
- 3/21 第2回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 3/25 応援団HP編集会議。出席:5名。
- 3/27 応援団活動写真ハ初作成Part II。担当:荒木、安藤。
- 4/ 2 応援団活動写真ハ初作成Part III。担当:荒木、安藤。
- 4/ 5 4月公演初日。応援団登録証伝達式。櫻井支配人より授与される。
出席:40名。展示室解説、演目説明など29日まで。
- 4/19 「大阪あそ歩」より解説依頼、14名。担当:荒木、大野、岡持、長、折井、丸山、安藤。
- 4/19 応援団通信第25号第1回編集会議。出席:3名。
- 5/ 7 「大阪あそ歩」より解説依頼、11名。担当:荒木、大野、岡持、折井、羽田。
- 5/10 スタッフ会議。出席:10名。
- 5/16 第3回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 5/17 第3回研修会。出席:39名。4月公演総括。学習会「DVD観賞」
- 5/30 第3回研修会報告書発送事務作業。世話人:笠山、松井、安藤。
- 6/ 5 文楽デー打合せ。担当:安藤。
- 6/ 7 文楽デー前日準備。世話人:大野、岡持、長、北、榊田、杉野、前川、安藤。
- 6/ 8 大阪市主催「第10回文楽デー」にスタッフとして参加。世話人:油田、荒木、今井、馬越、長、岡持、笠山、河野、齋藤、榊田、塩田、柴多、関口、立川、巽、谷野、中村、二神、前川、松井、松田、丸山、八木、横田、安藤。
- 6/12 応援団通信第25号第2回編集会議。出席:2名。
- 6/19 応援団通信第25号第3回編集会議。出席:3名。
- 6/28 スタッフ会議。出席:9名。
- 7/11 第4回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 7/11 応援団活動写真ハ初作成。担当:荒木、安藤。
- 7/12 第4回研修会。夏休み文楽特別公演日程調整。
演目説明、見所解説など。担当:藤田。
学習会「床本をよむ」
- 7/12 演目ゆかりの地巡り。
- 7/17 第4回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 7/19 夏休み文楽特別公演初日。展示室解説、演目解説など、8月4日まで。
応援団通信第25号、3,000部発行。

文楽公演

平成26年10月

地方公演スケジュール

【主催】文楽協会 【後援】文化庁

ユネスコ無形文化遺産、人形浄瑠璃文楽。

演目【昼の部】「解説」『^{そねざきしんじゅう}曾根崎心中』「生玉社前の段」「天満屋の段」「天神森の段」『^{よしつねせんぼんざくら}義経千本桜』「道行初音旅」

【夜の部】「解説」『^{すがわらでんじゅてならいかみ}菅原伝授手習鑑』「寺入りの段」「寺子屋の段」『^{つりおんな}釣女』

地方公演チケットお問い合わせ先

9月27日(土)	ラプリーホール(大阪府河内長野市)	0721-56-6100	10月10日(金)	千葉市文化センター(千葉市)	043-247-8430
28日(日)	菊川文化会館アエル(静岡県)	0537-37-3232	11日(土)	府中の森芸術劇場(東京都)	042-333-9999
10月1日(水)	りゅーとびあ(新潟県新潟市)	025-224-5521	12日(日)	神奈川県立青少年センター(横浜市)	045-263-4475
2日(木)	宇都宮市文化会館(栃木県)	028-636-2125	13日(月・祝)	熊谷文化創造館さくらめいと(埼玉県)	048-532-9090
3日(金)	電力ホール(仙台市)	022-227-2715	15日(水)	名古屋市芸術創造センター(名古屋市)	052-249-9387
5日(日)	岡崎市せきれいホール(愛知県)	0564-25-0511	16日(木)	名古屋市芸術創造センター(名古屋市)	052-249-9387
8日(水)	秋田県民会館(秋田市)	018-834-5055	18日(土)	北野文芸座(長野県長野市)	026-233-3111

文楽応援団通信 第25号 2014年7月19日

編集・発行 文楽応援団(年2回発行予定)

連絡先 〒542-0073大阪市中央区日本橋1-12-10

国立文楽劇場 事業推進課

TEL06-6212-2531(代) FAX06-6212-1202